

1. はじめに

昨年は、戦後わが国の最大の出来事と言える政権交代がありました。これは、高度経済成長時代の政治や経済システムが、それ以降の低成長期が長引いたことによりマッチしなくなり、経済低迷と共に国民の生活不安が増しつづけた背景に、さらに追い打ちをかける世界同時不況を迎えてそのシステムが機能しなくなったため、大多数の国民が変革を望んだ結果でした。新政権が掲げる民意を大切に政治が実現できるかどうかは、この 1 年でその真価が問われるところです。

さて、昨年の町会の最大の出来事を取り上げるとすれば、荒屋会館新築事業に着手できたことでしょうか。このことは、地域住民の強い絆と団結力を如実に示す証明に他なりません。

また、近隣町外の多くの方々からも、荒屋会館新築事業にご理解とご協力を戴くことができました。

町会は、皆さんから寄せられた荒屋会館新築の熱望と期待に応えるべく、支え合い・助け合いのある地域社会構築拠点として有効に活用をしていかなければなりません。

2. 町会の活動状況と課題について

町会の活動基本方針は、「支え合い・助け合いのある地域社会の構築」を理念として、昨年も皆様のご理解とご協力を得ながら精力的に諸活動と取り組んだ結果、次のとおり、著しい成果をあげることができました。

【1 年間の主な活動成果】

2-1 地域コミュニティの強化促進

- ① 町会に関する情報公開（町会ホームページに荒屋会館工事進捗状況を追加掲載）
- ② 校下婦人会連絡員の 2 名体制維持：校下婦人会との連携強化に寄与
- ③ 社会体育大会の積極的参加促進
：町会対抗競技総合優勝達成、近所の底力的な結束力の強化促進に寄与
- ④ 高齢者の社会交流促進
：悠々サロンの運営費補助、及び、人的支援を実施し高齢者のみならず多世代間の交流促進に寄与
- ⑤ 町会関係の横の組織との連携強化
 - ・ネットサークルの組織強化を図り、各種行事の協力体制を踏襲し町会行事の円滑実施に寄与
 - ・各組織代表者に自主防災会の役割分担を依頼し防災組織強化に寄与
 - ・悠々サロンボランティアスタッフ（以下、悠々クラブと称する）の協力により、盆踊り大会で赤飯製造販売、踊り手の参加協力を得て、大会の賑わい創出に寄与

2-2 交通安全、防犯対策の強化促進

- ① ちさか地域安全パトロール隊の体制強化
 - ・学童下校時の横断歩道 2 カ所 2 人体制の見守りを継続、交通安全と防犯に寄与
- ② ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の体制強化
 - ・役員、班長の未登録者の協力を得て、全登録者 106 名の組織に強化

- ③ 千坂防犯委員会の役員担当者選出要請に基づき、当町会選出者を送り役員に継続就任
- ④ 連続不審火事件発生により、防犯パトロールを1ヶ月間実施

2-3 防災対策の強化促進

- ① 災害防止の観点から町会用住民票を再整備
- ② 自主防災会の組織整備を図り、非常時の防災体制を確立
- ③ 災害防止避難訓練を実施

2-4 行政等に対する環境改善要請

- ① 市道福久南・百坂線の道路改修
 - ・所司原商店付近舗装損傷補修により、振動騒音被害が軽減
- ② 金信森本支店付近交差点の信号機設置要望
 - ・荒屋町町会、及び、町会連合会長と連名で東警察署長に要望書を再提出

2-5 町会の長期的展望に基づく諸問題の対応策を協議

- ① 第1回総合企画委員会を開催し、懸案事項となっている高齢化に伴う問題点の洗い出し、集会所改築後の有効利用と運営方法、積立金の取り扱い、町会長選出方法等について意見交換を行い、町会運営の長期的な対応策を協議し一定の成果を得る

2-6 集会所改築プロジェクトの推進

- ① 勤住協と集会所底地の寄付要望協議が整い、無償譲渡を受け所有権移転登記が完了
- ② 金沢県税事務所と固定資産取得税免除協議を行い非課税措置が決定
- ③ 協賛金募金活動の結果、見込額を大幅に上回る寄付金となり、充実した調度用品整備に目処
- ④ 石川県、金沢市との補助金申請協議を精力的に行った結果、荒屋会館建設事業補助金交付が決定
- ⑤ 4社見積入札の結果、鈴木建設と予定価格を大幅に下回る請負価格により契約締結
- ⑥ 8月30日、起工式（地鎮祭）を挙行
- ⑦ 掲示板設置補助金交付申請協議を金沢市と進め受理される（10万円交付予定）
- ⑧ 趣味の会（同好会）募集の結果、31名が申込み

【町会活動の課題】

- ① 高齢化対策
 - ・高齢世帯の増加に伴う町会運営上の問題、社会交流促進対策、高齢者にやさしい地域づくりについて早急な対応策を講ずる必要がある
- ② 違反ごみ対策
 - ・ごみの出し方ルールの徹底とマナー向上啓蒙活動が必要
- ③ 集会所改築プロジェクト完了後の対応策
 - ・完成後の会館維持管理費対策（費用の捻出方法、管理者常駐の実現）
 - ・会館有効利用促進策
- ④ 公民館委員の選出
 - ・2名以上委員選出要請が充足されておらず、新年度までに協力者を決定する
- ⑤ 次年度以降の町会長候補者選定
 - ・総合企画委員会等のあらゆる機会を通じて、次期候補者選定を円滑に実施する

3. 活動方針

町会の活動状況と課題にかんがみ、今年度の活動は昨年度に引き続き、地域内のコミュ

ニケーション強化を掲げて、安心・安全・ぬくもりのあるまちづくりを目標として、次のとおり活動を展開するものとする。

I. コミュニティの強化と高齢化対策

- ① 地域が直面する問題を町会が的確に把握し、適切に対処するためには、班長と連絡を密に行う必要があるため、拡大役員会を年数回開催する
- ② 町会だよりの記事の充実と発行回数増
- ③ 町会ホームページを、より魅力的な内容に充実させる
- ④ 役員、班長の連絡は、可能な限り電子メールを活用する
- ⑤ 地域の長期的懸案事項に対処するため、副会長経験者等を委員に委嘱して、総合企画委員会を年2回以上開催する

II. 町会の横の組織との連携強化、同好会活動の支援

- ① 全世代参加行事の継続実施
 - ・餅つき大会等（福寿会・青年部・子供会・悠々サロン・ネットサークル共催）
- ② 高齢者参加行事の実施
 - ・子供とのふれあい事業（福寿会・子ども会・悠々サロン共催）
- ③ 壮青年部の組織強化策の実施
 - ・町会行事のほか、公民館主催の各種町会対抗競技大会に積極的な参加を呼びかけ、その機会に会員勧誘を行う
- ④ 福寿会の組織拡充を支援し、地域社会貢献を要請
 - ・現役時代のノウハウを生かせる活動で地域貢献を呼びかける
 - ・支え合い、助け合いの地域づくりの協力を要請（一人暮らしの見守り等）
 - ・部会助成金を増額する（別紙：町会一般会計予算(案)参照）
- ⑤ 情報化社会に適応できる地域づくり
 - ・月2回のネットサークル定例会を継続、初心者パソコン講習会の実施、会員増加を図り防犯、防災・防犯活動の協力体制を強化
- ⑥ 悠々サロンが実施する高齢者の社会交流促進を支援
 - ・役員、班長等に積極的なボランティアスタッフ登録を依頼し、人的支援を強化
 - ・高齢者の参加促進を誘導
 - ・活動補助金を増額交付（別紙：町会一般会計予算(案)参照）
- ⑦ 同好会サークルの会員加入促進を誘導
 - ・荒屋会館利用促進を図るため、各種同好会会員加入促進を誘導
- ⑧ 自主防災体制の整備
 - ・自主防災会に対して運営費を計上
 - ・役員交代に伴う非常時の速やかな対応が可能な組織づくり
- ⑨ 自主防犯組織の強化
 - ・ちさか地域安全パトロール隊、ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の連携とボランティア募集による組織強化
 - ・地域安全パトロール隊に対する必要経費を増額する（別紙：町会一般会計予算(案)参照）
- ⑩ 校下婦人会との連携強化
 - ・地域連絡員の2名体制を維持する

III. 高齢化に伴う執行体制の見直し

- ・高齢化、空き家が顕著な班について、班割編成を見直しする

